

日本語教員養成課程 履修要項

1. 日本語教員養成課程

日本語教員養成課程とは、外国人に対して日本語を教授する教員としての資質および能力を養うための課程である。国際学部に設置された課程であるが、他学部の学生も履修することができる。

日本語教員養成課程を修了するためには、各学部の卒業に必要な単位数とは別に「日本語教員養成課程科目」の所定の単位を修得しなければならない。

なお、本課程を修了した者には、本学が独自に発行する修了証書が授与されるが、これは、教育職員免許状のように法律に基づく免許・資格に相当するものではない。

2. 履修手続

日本語教員養成課程を履修希望の者は、オリエンテーション期間中に実施する日本語教員養成課程説明会に出席し、所定の「日本語教員養成課程履修カード」に必要事項を記入のうえ教務事務室教務課に提出すること。手続完了者は当該学期以後、履修登録時に通常の授業科目と同様に「日本語教員養成課程科目」を履修登録すること。

なお、所属する学部の卒業に必要な科目と時間割が重複する可能性もあるため、早い段階から計画的に履修することが必要である。

3. 履修方法

(1) 日本語教員養成課程科目は、別表のとおり「社会・文化・地域」「言語と社会」「言語と心理」「言語と教育」「言語」の5分野で構成されており、各分野から所定の単位を修得すること。

(2) 日本語教育実習

受講資格

日本語教育実習を受講するためには、次の要件を満たしていることが望ましい。

ア. 2年終了時において日本語教員養成課程科目を20単位以上修得していること。

イ. 日本語教育概論(2単位)、日本語教育各論(2単位)、日本語教授法Ⅰ(2単位)、日本語教授法Ⅱ(2単位)を修得していること。

(3) 日本語教授法Ⅱ履修についての注意事項

日本語教授法Ⅱは、日本語教授法Ⅰを修得済みでなければ受講することができない。

(4) 2・3年次に情報学部開講の科目を履修希望の場合は、必ず授業開始前のオリエンテーション期間中に教務課まで申し出ること。ただし、申請後の変更は一切認められない。専門性の高い科目であることから安易に履修申請をせずに、シラバス等で授業内容を十分に理解してから申請すること。

4. 課程修了の要件

日本語教員養成課程修了の要件は、次のとおり。

(1) 本学の卒業に必要な単位数を修得すること。

(2) 日本語教員養成課程科目に関する科目に示す所定の単位を修得すること。

5. 修了証書

本課程を修了した者には、卒業時に本学が独自に発行する「日本語教員養成課程修了証書」を授与する。

以上

日本語教員養成課程に関する科目一覧
【国際学部生】

区分		授業科目	単位	年次	必要単位数
社会・文化・地域	世界と日本	国際学入門	2	1	8 単位以上
		日本文化史	2	1	
		日本の現代史	2	1	
		アジア太平洋の現代史	2	1	
		国際関係史	2	1	
		日本の伝統文化	2	1	
		中国の社会と文化	2	2	
		韓国の社会と文化	2	2	
		東南アジアの社会と文化	2	2	
		生活文化論	2	3	
		アメリカの社会と文化	2	3	
	世界の伝統文化	2	3		
	国際事情Ⅰ〔外国語学部〕	2	3		
	国際事情Ⅱ〔外国語学部〕	2	3		
	異文化接触	文化人類学	2	1	
	国際経済開発論	2	2		
NPO・NGOの国際活動	2	2			
移民と現代社会	2	2			
国際協力援助論	2	3			
日本語教育の歴史と現状	-				
言語と社会	言語と社会の関係	宗教と国際社会	2	1	4 単位以上
		ことばと文化	2	3	
		ことばと環境〔情報学部〕	2	3	
	言語使用と社会	-			
異文化コミュニケーションと社会	国際交流と異文化理解	2	1		
異文化コミュニケーション論	2	3			
言語と心理	言語理解の過程	人間の情報処理Ⅰ〔情報学部〕	2	1	4 単位以上
	言語習得・発達	人間の情報処理Ⅱ〔情報学部〕	2	2	
		学習過程論〔情報学部〕	2	3	
	異文化理解と心理	社会心理学A	2	1	
社会心理学B		2	1		
言語と教育	言語教育法・実習	日本語教育概論〔共通科目〕	2	1	10 単位以上
		※日本語教授法Ⅰ	2	2	
		※日本語教育実習	2	3	
	異文化教育・コミュニケーション教育	日本語教育各論	2	1	
		※日本語教授法Ⅱ	2	2	
言語教育と情報	-				
言語	言語の構造一般	言語音の解析〔情報学部〕	2	2	10 単位以上
		言語学概論Ⅰ〔外国語学部〕	2	3	
		言語学概論Ⅱ〔外国語学部〕	2	3	
	日本語の構造	国語学〔共通科目〕	2	1	
		世界の中の日本語	2	2	
		日本語特論	2	3	
	言語研究	※対照言語学Ⅰ	2	2	
		※対照言語学Ⅱ	2	2	
		○コーパス言語学〔情報学部〕	2	3	
		○自然言語の意味〔情報学部〕	2	3	
		自然言語の文法〔情報学部〕	2	2	
		語彙情報論〔情報学部〕	2	3	
		言語調査法〔情報学部〕	2	3	
		コミュニケーション能力	自然言語の基礎〔情報学部〕	2	
	必要単位数計				

※注意事項

- 網掛けの科目は必修科目を示す。
- ※印の科目は制限外登録とし、卒業必要単位数に充当されない。
- 無印の科目は制限内登録とし、卒業必要単位数に充当される。
- の科目は以下の内容を理解したうえで受講すること。
 - 「自然言語の意味」は「語彙情報論」を履修済み(同時履修も可)の学生を対象とし、哲学的に言語の意味を考察する講義である。
 - 「コーパス言語学」は「語彙情報論」を履修済みの学生を対象とし、プログラミングの基礎知識を必要とする講義である。

日本語教員養成課程に関する科目一覧
【国際学部生以外】

区 分		授業科目	単位	年次	必要単位数
社会・文化・地域	世界と日本	国際学入門	2	1	8 単位以上
		日本文化史	2	1	
		日本の現代史	2	1	
		アジア太平洋の現代史	2	1	
		国際関係史	2	1	
		日本の伝統文化	2	1	
		中国の社会と文化	2	2	
		韓国の社会と文化	2	2	
		東南アジアの社会と文化	2	2	
		生活文化論	2	3	
	アメリカの社会と文化	2	3		
	世界の伝統文化	2	3		
	国際事情Ⅰ〔外国語学部〕	2	3		
	国際事情Ⅱ〔外国語学部〕	2	3		
	異文化接触	文化人類学	2	1	
国際経済開発論		2	2		
NPO・NGOの国際活動		2	2		
移民と現代社会		2	2		
国際協力援助論		2	3		
日本語教育の歴史と現状	-				
言語と社会	言語と社会の関係	宗教と国際社会	2	1	4 単位以上
		ことばと文化	2	3	
		ことばと環境〔情報学部〕	2	3	
	言語使用と社会	-			
異文化コミュニケーションと社会	国際交流と異文化理解	2	1		
異文化コミュニケーション論	2	3			
言語と心理	言語理解の過程	人間の情報処理Ⅰ〔情報学部〕	2	1	4 単位以上
	言語習得・発達	人間の情報処理Ⅱ〔情報学部〕	2	2	
		学習過程論〔情報学部〕	2	3	
	異文化理解と心理	※社会心理学A	2	1	
※社会心理学B		2	1		
言語と教育	言語教育法・実習	日本語教育概論〔共通科目〕	2	1	10 単位以上
		※日本語教授法Ⅰ	2	2	
		※日本語教育実習	2	3	
	異文化教育・コミュニケーション教育	※日本語教育各論	2	1	
		※日本語教授法Ⅱ	2	2	
言語教育と情報	-				
言語	言語の構造一般	言語音の解析〔情報学部〕	2	2	10 単位以上
		言語学概論Ⅰ〔外国語学部〕	2	3	
		言語学概論Ⅱ〔外国語学部〕	2	3	
	日本語の構造	国語学〔共通科目〕	2	1	
		世界の中の日本語	2	2	
		※日本語特論	2	3	
	言語研究	※対照言語学Ⅰ	2	2	
		※対照言語学Ⅱ	2	2	
		コーパス言語学〔情報学部〕	2	3	
		自然言語の意味〔情報学部〕	2	3	
		自然言語の文法〔情報学部〕	2	2	
		語彙情報論〔情報学部〕	2	3	
		言語調査法〔情報学部〕	2	3	
		コミュニケーション能力	自然言語の基礎〔情報学部〕	2	
必要単位数計					36 単位以上

※注意事項

- 網掛けの科目は必修科目を示す。
- ※印の科目は制限外登録とし、卒業必要単位数に充当されない。
- 無印の科目は制限内登録とし、卒業必要単位数に充当される。
- の科目は以下の内容を理解したうえで受講すること。
 - 「自然言語の意味」は「語彙情報論」を履修済み(同時履修も可)の学生を対象とし、哲学的に言語の意味を考察する講義である。
 - 「コーパス言語学」は「語彙情報論」を履修済みの学生を対象とし、プログラミングの基礎知識を必要とする講義である。